

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用」

## 【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。単元ごとに見通しをもたせ振り返りを行う学習計画シートを活用する。
- 2 次の①から③の学習形態の中で自ら学び方を決定する。
  - ①個別に「学習支援アプリ：学習e-ポータル」内の動画説明を活用して、学習課題の学習を行う。
  - ②小グループで協働的に学び合って学習課題の学習を行う。
  - ③担当教員とともに学習課題の学習を行う。
- 3 各学習形態で自由進度学習を行う。
- 4 各自、振り返りを行い、自己評価する。



①個別に動画説明を活用した個別最適な学び



②数名で協働的な学び



③担当教員との学習

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 自ら選択した学習形態により学習意欲が向上し、主体的な学習につながってきている。
- 2 学習支援アプリ：学習e-ポータルなどを主体的に活用し、意欲をもって自学する生徒が増えてきた。
- 3 学習意欲に課題の見られた生徒についても自ら選択した学習形態で目的意識をもって学習するようになってきた。
- 4 授業において、協働的に学ぶ姿が増えるようになった。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

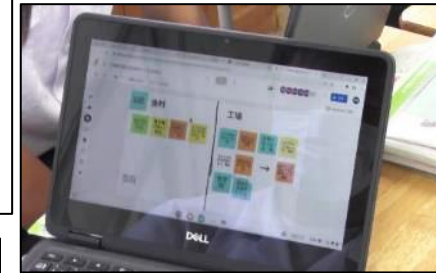
## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用

## 【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。
- 2 個の考えをジャムボードに出し合う。
- 3 班内で個の考えを交流して、それをグループ分けして班の考えをまとめる。  
※それぞれの考えの違いを、色分けして示すことで分類しやすくする。
- 4 全体交流して学習課題の解決を図る。  
※電子黒板に各班のジャムボードのまとめを出して全体共有を図る。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 ジャムボード等のアプリの使用について、生徒たちは、すぐに慣れて活用できる力をもっていることが分かった。  
教師にとっては、生徒よりも慣れるのに時間がかかるが、以前は付箋を使って行っていた取組をクロームブック上に置き換えて行えばよいので、比較的スムーズに活用できるようになっている。
- 2 教科学習だけでなく、総合的な学習などでもジャムボードを使うことで、個の考えや集団の考えを共有して深めることが容易にできるようになった。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

## 【取組内容②】 インターネット上の動画教材や、授業において動画撮影した動画の活用授業の実施

## 【実施内容の具体】

- 小単元の学習を終えた後の学習内容の定着を図る学習において、タレントによるクイズ動画を活用する。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 タレントによる学習動画は、生徒にとって興味・関心が高まり、学習内容の定着にも効果が見られた。
- 2 教員同士でこのような動画教材を見つけることにもつながり、授業の工夫の幅が広がった。



学習に関するクイズ動画

## 【実施内容の具体】

- 1 実技教科において、学習課題を把握する。
- 2 2人から数名の小グループをつくり、各自の実技の演技をクロームブックでお互いに撮影し合う。
- 3 授業の終了までに各自が実技動画を担当教員に提出する。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 体育科の実技指導において、授業内に自分の実技を動画で視聴することで、客観的に自分の課題を見付け、解決するための方策を協働的に学び合うことができた。
- 2 時間内に自分の納得した実技動画を提出することから、課題を確認しながら何度も実技を行い、主体的な学習につながった。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

## 【実施内容の具体】

- 1 端末（クロームブック）の持ち帰りによる学習  
学校で行っているクロームブックを活用した学習を家庭学習で活用させる。
  - ①授業の予習・復習
    - ・クラスルーム内にあるデータやインターネットを活用した調べ学習。
    - ・学習e-ポータルによる学習内容の動画の活用。
  - ②学習面のサポートを意図したオンライン上での認知機能トレーニングなどの実施。



学習e-ポータルを活用した学習

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 実技教科において、事前に実習内容や実技テストの動画をクラスルームに投稿し、予習を行えるようにすると、事前に動画で手順や方法などを自主的に予習して、実習をスムーズに行うことができた。
- 2 家庭学習における学習e-ポータル等の活用や、学校での授業のつながりを持たせる効果が見られた。
- 3 オンライン上で認知機能トレーニングを行う生徒が増えてきている。



認知機能トレーニングの取組

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

## 【取組内容④】 職員の情報共有のための活用、アンケート等での活用

## 【実施内容の具体】

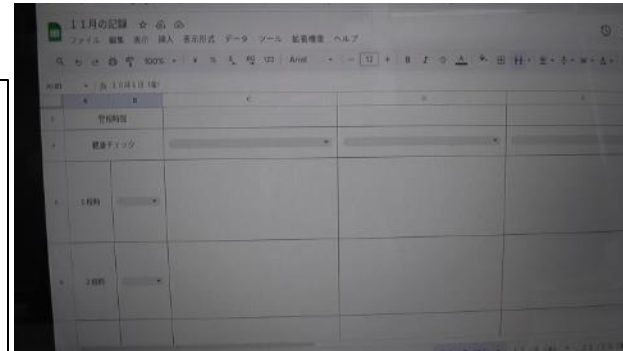
- 1 朝の会で行う健康観察をクロームブックで行う。
- 2 別室登校生徒（SSR教室在籍生徒）の登校状況や、別室での活動状況などの記録をクロームブック内に記入し、教職員の情報共有を図る。
- 3 児童生徒のいじめ・体罰・セクハラに関するアンケートなどをクロームブックで行う。



朝の健康観察

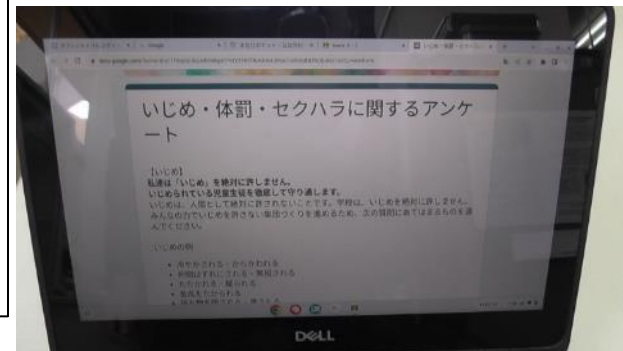
## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 朝の会の始まる前から、生徒たちは個別に健康観察をクロームブックで行うことが習慣になり、全体の生徒の健康状態の把握と内容の集計が容易にできるようになった。
- 2 別室登校の生徒の活動状況がいつでも閲覧して確認できるようになった。このことで、関係教職員で各生徒に応じた指導について随時協議して組織的な取組につなげることができるようになった。
- 3 アンケート等の取組をクロームブックで行うことで、提出状況の把握や内容の把握を迅速に行うことができ、用紙で行っていたころよりも早期対応することができるようになった。



別室登校生徒の活動記録の様式

クロームブックの教師用クラスルームで共有



いじめ・体罰・セクハラに関するアンケート

## 【取組内容⑤】 他校の不登校及び別室登校生徒同士をオンラインでつなぎ交流する授業の実施

## 【実施内容の具体】

- 1 広島県教育委員会不登校支援センターの取組であるオンライン部活動に、「いちご大福づくり」の講師として参加する。
  - ①事前準備
    - ・いちご大福作りについて、クローズドブックで調べる。
    - ・作り方のプレゼンを作成する。
    - ・実際にリハーサルでいちご大福を作る。
  - ②オンライン参加で講師を務める
    - ・クローズドブック2台を使い、1台目は撮影用で、2台目は、参加者や自分の撮影状況を把握するために使用する。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 別室登校の生徒にとって、これまで大人数での交流に抵抗があった。しかしオンライン上であれば、緊張しながらも講師を務めることができた。
- 2 人前で発表することに抵抗があったが、事前の準備等の取組が生き、相手側の先生の働きかけなどもあり、円滑に対応することができた。
- 3 事後の振り返りで、達成感を得ており、参加した別室登校の生徒は、広島県は元より、福島県、三重県等の他県からも参加しており、繋がりを感ずるとともに自信にもつながった。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

## 【取組内容②】 インターネット上の動画教材を個別に活用した音楽科の授業の実施

## 【実施内容の具体】

- 1 オペラの題材において、登場人物の心情や場面と音楽とのかかわりを探る授業
  - ①個別にオペラを視聴する。
    - ・オペラに出てくる登場人物のようすや心情を探るために、個別にクロームブックでオペラの動画をイヤホンをつけて視聴することで、課題に迫る。
    - ・オペラの場面を個別に何度も視聴することができるように指導する。
    - ・気付いたことを個別にワークシートに記入し、個の考えを持たせる。
  - ②課題について考えたことを交流し、自分の考えの確認したり、他者の考えから学びを深めていく。
  - ③交流して考えが変容する経験をさせ、再度、個別にオペラを視聴して考えを更に深める。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 これまでの授業形態では、一斉にオペラを視聴して考えさせる授業であったが、一人一台のクロームブックを使用することで、個別に何度も聞き返すことができ、個別最適な学びにもつながった。
- 2 クロームブックにより、個別に課題のオペラを何度も視聴できたことで、生徒が主体的に学習し、交流の場においても意欲的に関わることができるようになった。



## 【取組内容②】インターネット上の動画教材を活用した道徳科の授業の実施

## 【実施内容の具体】

- 1 道徳科の教科書の題材について、事前に題材に合う動画の有無を調べる。そこで、適切な動画が見つかった場合は、動画の視聴時間と内容を吟味して、授業で活用できるかを検討する。
- 2 授業で活用できる場合、すべてを視聴させるのではなく、途中で止めて考えさせる場面などを検討し、道徳的価値に気付かせる仕掛けを作る。
- 3 考えを交流する場面について、交流後に動画の続きを視聴させたり、繰り返し前の場面を視聴させるなど、道徳的価値を深める工夫をする。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 これまでの授業形態では、道徳科の教科書等の読み物教材で学習することが多く、国語的な授業になることもあった。しかし、効果的な動画を活用することで、読み取りではなく、視覚的に道徳的価値に迫り、深めることができた。
- 2 道徳科の授業に関する動画サイトを、事前準備において指導者同士で視聴・交流し合い、効果的な教材を探すことに意欲をもって取り組むことができるようになってきた。





## リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

## 【取組内容⑤】宇宙航空研究開発機関の講師による特別授業の実施

## 【実施内容の具体】

- 1 児童生徒が、事前学習で「はやぶさ2のサンプルリターン」に関する動画を動画サイト及び録画ニュース動画で視聴する。
- 2 宇宙航空研究開発機関のホームページを活用して、「はやぶさ2」に関するパネルを校内に掲示して興味・関心を高める。
- 3 宇宙航空研究開発機関の講師による特別授業  
中学校体育館で実施し、オンラインで小学校及び別室登校生徒の教室へつなぐ。
  - ①中学校体育館：小学校5年～中学校3年までの児童生徒
  - ②各教室：小学校3年・4年、中学校の別室登校生徒  
オンラインで特別授業を視聴
  - ③特別授業後、授業の振り返り、感想等を一人一台クロームブックのスプレッドシートに入力する。
  - ④宇宙航空研究開発機関の講師の先生にオンラインで送付する。

## 【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 事前学習に動画サイトやニュース動画を活用して、効果的に興味・関心を高めることができた。
- 2 宇宙航空研究開発機関のホームページ上にあるデータを活用し、パネルに印刷して掲示することで、日常の中で関心を高めることができた。
- 3 オンライン配信を行うことで、小学3・4年生は移動の難しさをなくして慣れた教室で授業を受けることができた。
- 4 大人数の場所に入りにくい別室生徒にもオンラインを活用して貴重な授業を視聴することができ、その生徒たちも興味・関心を高め、学びを深めることができた。

